

薬事情報センターに寄せられた県民・医療従事者からの相談事例
(2014年11月)

【適正使用】

Q：半年以上前に処方してもらい開封した点眼薬を、同じ症状なので使用して良いか？（県民）

A：開封後に長期間保管した点眼薬は、品質上汚染の問題等があるので使用しない。また、以前の症状と今の症状が同じということで、以前使っていた薬を自分勝手に使用しない。

Q：鼻炎でアレグラTMMF_Xを服用している。症状がひどいので、量を増やして飲んで良いか？（県民）

A：副作用等が現れる可能性があり、決められた量を守って服用する。症状が改善しない場合は、医療機関を受診する。

Q：パブロン鼻炎カプセルSを10数年間購入し、症状がある時に数ヶ月間使用している。最近髪の毛が抜けるが副作用か？（県民）

A：脱毛の副作用はない。一般用医薬品を5～6日間使用しても症状が改善しない場合は、医療機関を受診する。

【相互作用防止】

Q：コレバインTMを服用中。ビタミンEと一緒に飲んでも問題ないか？（県民）

A：コレバインTMの作用で脂溶性ビタミン（A、D、E、K）あるいは葉酸の吸収阻害が起こる可能性がある。できる限り間隔をあけて服用した方が良い。

Q：アダラートTMCR、タツゾシンTM（ドキサゾシンメシル酸塩）、ミカルディスTM、ファモチジン、センナリドTM（センノシド）、ゾルピデム、マグミットTM、ステーブラTMを服用中。新コンタックTMかぜ総合を服用して良いか？（県民）

A：新コンタックTMかぜ総合の成分はアセトアミノフェン、無水カフェイン、デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物、ブロムヘキシン塩酸塩、dl-メチルエフェドリン塩酸塩、d-クロルフェニラミンマレイン酸塩。

アセトアミノフェンは、消化性潰瘍には禁忌。

d-クロルフェニラミンマレイン酸塩は、高血圧症には慎重投与で、また排尿困難等が現れる可能性があるので注意が必要。

【副作用防止】

Q：喘息がある（現在は治療薬なし）。整形外科で ترامセツト™ が処方され、1日6錠に増量になった。医師が喘息に気を付けるように言っていたが、今、喘息症状が出ている。どうしたら良いか？（県民）

A： ترامセツト™ の成分のアセトアミノフェンによる喘息症状の悪化の疑いがある。すぐに喘息の治療医を受診し、 ترامセツト™ を服用していることを伝える。

Q：オパルモン™ を服用中。内視鏡検査をするが、医師に伝え忘れた。中止した方が良いか？（県民）

A：内視鏡検査の種類、部位、範囲等による出血の危険度で休薬が必要かどうか決まるので、医師の指示を仰ぐ。